

# 女に値札をつける 仕組みに怒りたい！

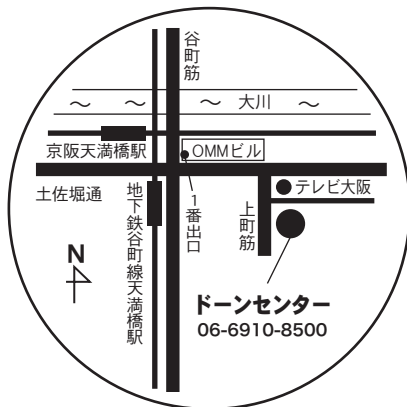
「女性性は、エントリーしていない試合のリングにいつの間にか上げられ、勝手に評価されたり批判されたりする」と感じたことはありませんか。

昨年、集団わいせつ事件で逮捕された東大生は、「上位の〇大はカノジョ要員」「〇大は友達要員」「〇大はセックス、コンパ要員」「それ以下はネタ枠」と女子大生をランク付けし、「ネタ枠」とした女子大生をわいせつ行為の対象にしていました。

また、一昨年の年末に過労で「自殺」したとさかんに報じられた電通女性社員の死は、実は男性の過労死と同じではなく、残されたツイートに「女子力がないと言われるの…(中略)…我慢の限界」「部長『髪ボサボサ、目が充血したまま出勤するな』」とあるように、男性上司からのセクハラもその要因でした。朝日新聞政治部次長の高橋純子さんは「女子力という言葉は、男性に使われると物差しとなり、上司に使われると途方もない抑圧となる」とコメントしています(冒頭の一文も高橋さんのものです)。

女性の全人格を性的魅力に一元化して勝手に「値札」をつけ、バッシングに利用する風潮も増殖しています。「『女性専用車両』に乗る女はブスばかり」とタレントが放言し、「女性専用車両」に乗れなくなった女子高生もいます。「ミスコン」から「アンチエイジング」まで、この社会の「女に値札をつける仕組み」は女性を縛っています。

講師のお話を聞き、みんなのモヤモヤを言葉にしていきませんか？



- 日時 2017年 2月 28日(火)  
18時30分～21時
- 場所 ドーンセンター・4F 中会議室 2  
(大阪府男女共同参画・青少年センター)
- 講師 古久保さくらさん  
(大阪市立大学・人権問題研究センター所長)
- 会費 1000円  
\*維持会員の方は無料です。

参加は  
女性のみ

お問い合わせ

性暴力を許さない女の会

大阪市東淀川郵便局私書箱15号

TEL 06-6322-2313 (毎週火曜日 夜7~9時のみ)